

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	四街道市児童デイサービスセンターくれよん		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 7日		～ 令和8年 2月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	66	(回答者数) 45
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 7日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員や事務員を含め、全職員が様々な研修に参加できる機会がある。 ・職員間で相談や話し合いをしやすく、風通しがよい環境である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼や毎月の会議に多くの職員が参加し、行事やその日のプログラムの周知確認を行っている。 ・短時間勤務の職員は引き継ぎノートを活用し、業務が円滑に進むようにしている。 ・こまめな話し合いで共通理解を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規職員への研修を強化、所外研修の積極的な参加により、支援方法や子どもの特性理解を深める。 ・今後も密な話し合いをこまめに行っていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通所のため、日ごろから保護者と子どもの発達の状況や課題について共通理解し支援していくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通所の良さを最大限に生かし、細かな声掛けを保護者にしている。支援方法を伝えるとともにリアルタイムでこどもの状況を共有し、共通理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者間でも保護者への助言、支援方法の提示をどのようにしたか共通認識していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレント・トレーニングに関しては、子育てにおける親の心持や子どもへの対応の仕方について、座学での研修は十分に行えていない状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通所のため、その時、その場での支援方法を保護者の方に口頭で伝えられる反面、保護者の方が落ち着いて話を聞ける体制を整えることが難しいところもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の体制を見直しつつ、保護者のみでの小規模での研修を開催できるようにしていく。 ・外部での研修についても掲示等で知らせていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時の対応については、「わからない」「どちらともいえない」との保護者からの回答が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に訓練に参加している利用者が少ないためわからない状況になっている。 ・避難訓練の周知不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練について予定表や掲示で今後も周知していく。
3			